

に恵まれた育ち方をする。やっぱりちょっと外れたへき地、要するに悪いですけど、上のほうとか人口の少ないところは、学童保育も受けられない、中には塾に入ってるという話も聞いてるんですけど、塾に入れば親の負担は、どうしても、学童保育と違ってお金がかかりますから、先ほどの話とあれしますが、今、対馬の環境は、すごくそういうふうにして、収入に乏しくなってる状態ですので、子供たちに、そういう隔てのない行政をしていただきたいと思います。

そうしないと、やはり小さい子供が、市長も言われたように、早く帰ってくるお母さんもおれば、遅く帰ってくるお母さんもおるでしょうけど、やっぱりそこに、何とかして隔てのない育て方をしてやらんと、おなかをすかせて7時までお母さんが迎えに来ない子供なんか、それから自宅に帰って、お母さんが食事しよってみんなですか、8時になるですよ。そりゃ1年生、3年生の、私のところも同じような孫がおるんですけど、やっぱり見かねたとき、自分の孫でも、これたちが8時までおなかをすかせてするということはないですよ。

だから、そういう環境に恵まれない子供に、逆に、学童保育の手厚さを、私は訴えたいと思います。

ぜひ、市長、そういうことで、上対馬のほうも、年内にそういう形で取り入れてもらいたいと思います。

もう時間ありませんので、私の質問はそういうふうにして、終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（作元 義文君） これで、18番、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。開会は2時から行います。

午後1時49分休憩

午後2時00分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 対馬市の医療崩壊といづはら病院跡のケアミックス型60床のことについて、市長にお尋ねいたします。

いづはら病院と中対馬病院の所有権は、どなたにあるのでしょうか。

質問2、いづはら病院、中対馬病院及び豊玉診療所のそれぞれの1日の平均通院患者数は何名ですか。

質問3、市長は、昨年の市長選挙でケアミックス型の病院、約60床を残すというビラをまかれましたが、私が知り合いの長崎県議に聞いたところ、いづはら病院のケアミックス型は残すこ

とができないことを財部市長は知っているということですが、事実ですか。いつはら病院を、ケアミックス型60床を残すことは、本当にできるのですか。

質問4、前回の選挙で、巖原南部の市民は、ケアミックス型の病院60床を残すという、市長の言葉を信じて応援をしました。そのことは、市長はおわかりですか。ケアミックス型の60床が残らなくなると、南部の市民は緊急の場合、患者を40分以内に病院まで搬送する必要がありますが、新しくできるグリーンピアの病院までの搬送は困難だと思いますが、いかがですか。

質問5、また、市長は前回の市長選挙の時点で、ケアミックス型の病院60床は残らないことを知っていたのではないですか。私が調査したところ、中対馬病院の通院患者の実情は、午後1時には全然いません。この事実を市長は知っていますか。この通院患者数では、グリーンピアの新病院は経営はできないのではないかと心配しておりますが、新病院の経営は可能なのでしょうか。

もし、運営ができない場合は医療崩壊になりますが、この事実を市民が知った場合、市長リコールに発展すると思いますよ。重大な市民に対する背信行為だと思います。

私は、一般質問になれていませんので、できるだけ一問一問お答えをお願いいたします。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 入江議員の質問に答える前に、リコールとかいう不穏当な発言をされないようにしていただきたいなと思います。私に、その事実は全くない中で、そのようなことは、大変失礼な話ではないかなと思っております。

今、入江議員が何点もおっしゃいましたけども、それらについて、私は全く承知しておりません。私が、市民の皆さんに約束をすることは、自分が言ったことを守って、そこに向かって、一生懸命汗をかくことだというふうに思っております。

その時点において知ってたのではないか、何を知ってたんだと、さっぱり私には理解できません。自分は、そのときの中で、一生懸命考えて市民に提案をさせていただいたつもりです。

その点を十分に理解をしていただければと思っております。

そういう意味において、ケアミックス型を残す形で、自分は、今取り組んでおりますし、対馬いつはら病院・中対馬病院跡利用計画検討委員会においても、昨年2回、そして今年度4回から5回にわたって検討をされ、この年度内に一つの方向性を出していただくというふうになっております。

通告にありました、中対馬病院の通院者は何名ですかというお尋ねがございました。中対馬の外来患者数につきましては、23年度は5万9,880人でしたので、1日平均患者に換算しますと245.4人ということになっております。そして、24年度においては6万1,907人と

ということで報告を受けております。1日平均患者におき直しますと252.7人というふうなことであります。

また、対馬いづはら病院の通院者数というものも通告でありましたが、23年度が12万1,829人、1日平均患者が499.3人となっております。そして、24年度でございますが、これが12万4,959人でしたので、1日平均患者におき直しますと510人ということになります。

豊玉診療所もございましたですね。（「豊玉も」と呼ぶ者あり）はい。豊玉診療所は23年度が2万1,770人でしたので、1日平均90.4人、そして24年度は2万1,453人でしたので、平均88.6人というふうな数字になっております。

そして、財産の所有関係のお話もございました。（「中対馬といづはら病院の所有権」と呼ぶ者あり）中対馬といづはらですね。所有権ですね。建物は、両病院とも長崎県病院企業団の所有というふうになっております。

また、土地につきましては、登記簿上の所有は長崎県病院企業団ということになっておりますけれども、病院閉院に伴い、契約は解除され、対馬いづはら病院の土地に関しましては対馬市の所有に戻ることとなります。中対馬病院の土地は、旧国立病院、要するに国から県離島医療圏組合が無償譲渡を受けております。そして、現在も長崎県病院企業団の所有ということになります。

以上でございます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 1番の質問に対して、企業団の持ち物ということだったんですけど、去年、市長に出られるときにビラをまいてありますよね、このビラを。それには残すって書いてあるんですよ。残すということが書いてあるんですが、あなたの独断で、これを言われたんですか。下にちゃんと。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私のビラは、私の構想でございますので、私の独断で、それは当然書いております。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 病院企業団の持ち物なら、病院企業団じゃないんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） いや、先ほど説明しましたように、少なくとも土地は、病院企業団、今ですが、用途廃止の段階においては、もとの所有であります厳原町、要するに対馬市に戻ってくるように、これはなっております。そして、建物についても、私どものほうに何らかの形で譲渡するというふうな話の中で、私どもが、それを今後使っていくという根幹はそこにありまして、

それから、そのような形の構想を組み立てたところでございます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） わかりました。

質問2なんですけど、今市長は、いづはら病院の60床を残すと言われましたが、このような状態で、いづはら病院に残せば、南部市民から巖原市民はわざわざ新病院までは行かないと思うんです。

それで、今は、豊玉より峰と向こうのほうは一応豊玉診療所なんです。ということは、中対馬病院をなくして新しい病院を建てたとしても、巖原方面は全部向こうで、旅費まで使うては行かないと思うんですけど、新しい病院には、ということはやっていけるんでしょうか、新しい病院は。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今、3番議員さんがおっしゃってある意味が、巖原に病院がほしいのかほしくないのが、さっぱり私には理解できない質問だというふうに理解しましたが、巖原の南部地区の方を含め、巖原の方たちが巖原にやはりほしいというふうな思いを持っておられる。そして、154床という病床があるわけですが、ここまではともかくとして、何らかの形のを、やはり巖原地区に一定のものがほしいという思いを巖原の方たちはお持ちですので、それらをかためるために、私は物事をやろうとしております。

また、そのことによって、今度は、病院企業団の経営は成り立つのかというお話がございました。何度も、私はこの問題について説明をしてきましたが、今現在、対馬の私どもの医療費、国保に限らず、社会保険もそうですけども、半分以上が外に出ていっていると、それらをどう島内に取り込むかということがとても大切な話でございます。

今現在、合わせて334床でしたか、ベッドはあるわけですが、これの倍の、極端に言えば倍近くの数が、本来100%ここで完結してしまおうとすれば必要だというふうなことになります。それは高度医療のこととか、いろいろ不可能なことも、確かにございますでしょうけども、それらをどう取り込むかがこれからの病院企業団のやり方だということ。

そして、新たな新病院におきましては、放射線科等を設けて、新たな診療科で入院患者の取り込みというか、外に出ていっている方たちを内にとどめていくことも頑張っていくということをお願いしておりますので、しっかり経営は成り立つものというふうに考えております。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 60床を残した場合、恐らく巖原市民も南部市民も、60床のほうに全部、バス代まで使ってから新病院には行かないと思うんですけど、恐らく、私たち思うのは美津島町だけじゃないかと思うんです。豊玉から向こうは向こうに残る。そしたら、恐らく新

私は、今の物事の組み立ての中で残せるというふうな考えでおります。あなたの仲がいいとおっしゃられた県議の発言の真意が、私にはよく伝わりません。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） じゃ60床は残せるということでもいいんですね。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 約60床のケアミックスを形づくるために、今検討委員会等で論議を進めてもらっている最中でございます。年度いっぱい一つの方向性がきちんと出るものというふうに御理解をいただければと思います。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） それと、救急車の問題なんですけど、救急車、豆殿からの、南部からの、40分圏内じゃないと間に合わないんです、大体。それで、今の状態では40分圏内では間に合わないんですけど、新しい病院までは。どんなに考えてありますか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今、救急搬送の時間で40分という根拠が何なのか、単に運ばれる時間というお話なのか、それとも命との兼ね合いの救急から、それとの関連の40分という、できれば、そこをちょっと示していただければ、こちらも答弁がしやすいんですけども。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 福祉の経験をしているものですから、大体、命が、救急車で運ぶのが40分じゃないと、病院まで、間に合わないということなんです。だから、今の状態では40分で運ぶということはできないと思いますけど。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私は、40分という話は、お医者様のほうからは聞いておりません。その病状によって、さまざまな時間の設定があるというふうなことを院長先生たちからは聞いておりますけども。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 福祉施設を17年に始めるときに、いろいろ、豆殿につくろうか、内山にしようかと言うたんですけど、そのときに、病院の先生が40分で運べる位置にしたほうがいいですよということだったんです、救急車で40分圏内に。だから、恐らく40分しかもてないんじゃないかと思うんですけど、私は。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） その先生が、どういう病気を想定されておっしゃられたかは、ちょっと私も定かではありませんけども、極力、そのあたりの時間を短縮したいという思いで、先ほど、

午前中の御質問ありました10番議員の波田議員のほうからも、南部に向かつての道路の問題がありましたけども、そのあたりについて鋭意努力をし、その時間短縮を図っていきたいというふうなことで、取り組みをさせていただいておるところであります。

また、バス、交通料金の問題がございました。これも、今、試行的にずっとやっておりますけども、これらを、どのように対馬全体に組み立てられるのかということも、常に頭に入れて組み立てをしているということで御理解をいただければと思います。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 南部に救急車を1台置くとしますよね、1人運んで、あと1人出た場合はどうなります。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 確かに、じゃ2台あって、3人目が出たらどうしようって、いろんなきりがないんですが、しかし、正直言いまして、そこの体制、考えております。

1台出てきたときには、本署のほうから、すぐに次に入るということで、全ては組み立てを、予定を今しておりますので、極力、そのときにタイムラグが起こらないように訓練等もしていきたいというふうに考えております。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） じゃ、今、ケアミックス型60床残して、豊玉診療所と、で、中対馬病院に新しい病院ができるんですが、南部市民が、巖原から向こうは残るとして、今の状態で、そしたら新しい病院は、もうほとんど美津島だけになるんじゃないかという心配が、ものすごくもうあるんですけど、それで病院やっていけますか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先ほどお答えさせていただきましたが、診療科目の数の問題等で、当然、新しい病院が対馬の中の基幹病院としての診療科を設置をしていくということで、企業団とのお話はできております。

それを補完していく意味において、いづはらはやっていくということになりますので、今のままで物事は進んでいくとは到底思っておりませんし、診療科目が多いところに当然通っていただきたいと思えますし、そこに通うための交通対策というのをきちんと打っていきたいということ、先ほどから申し上げさせていただいてるところでございます。

○議長（作元 義文君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 去年の市長選挙でまかれたビラのとおりには守られるということですよね。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 皆様方も同じように、選挙民に公約をされて、今ここにいらっしゃると
思います。そして、それを守るためにここに立っておられると、発言をされてると思います。私
も、選挙民に対して、そのことを訴え、そして、それを実現するために、今ここに立っていると
思っておりますので、どうか、皆さん方の安心のため、しっかりと取り組んでいきたいと思っ
ておりますので、御理解いただければと思います。（「わかりました」と呼ぶ者あり）

○議長（作元 義文君） 3番、いいですか、終わり、はい。

これで、3番、入江有紀君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 以上で、本日の会議はこれで終わります。お疲れさまでした。

午後2時25分散会
